



3. 当日課題解説・回答例

令和3年度アジア情報研修
「国際化するアジアの諸課題
を調べよう！～国際機関の資
料と統計を使って～」
科目②統計から調べる

1. 当日課題

- イ) 国際機関の最新のデータで比較して、アジア諸国の中で最も多くの難民の出身国となっている国を挙げてください。

※「アジア」は、国連統計部（UNSD）の地理区分で「アジア」とされている国を指します。

- ロ) イで回答した国の難民を最も多く受け入れている国はどこですか。
- ハ) ロで回答した国において、イの国からの難民は、男女どちらが多いですか。

2. 回答例

イ) 国際機関の最新のデータと比較して、アジア諸国の中で最も多くの難民の出身国となっている国

(回答) 1位 : シリア 670万人 (6,689,582人) (2020年)

出典 : ・「数字で見る難民」(国連難民高等弁務官事務所UNHCR日本事務所、https://www.unhcr.org/jp/global_trends_2020)、

・*Global Trends in Forced Displacement – 2020* (UNHCR、<https://www.unhcr.org/asia/statistics/unhcrstats/60b638e37/global-trends-forced-displacement-2020.html>)、

・World Development Indicators (世界銀行)

・Refugee Population Statistics Database (UNHCR、<https://www.unhcr.org/refugee-statistics/>)

□) イで回答した国の難民を最も多く受け入れている国はどこですか。

(回答)

トルコ ⇒3,641,370人 (2020年) シリア難民の56%

出典：国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のRefugee Population Statistics Database、*Global Trends in Forced Displacement 2020*のAnnex

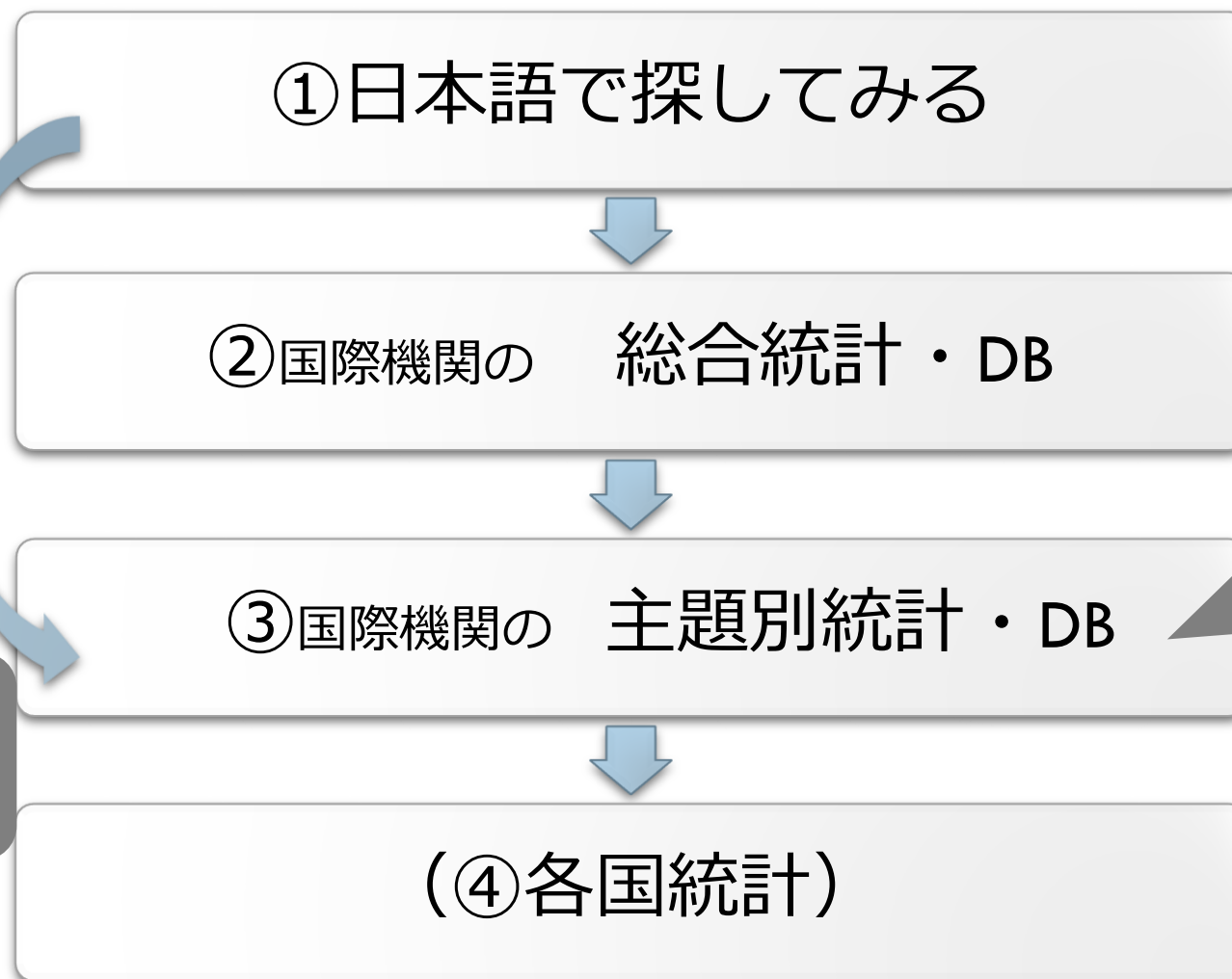
ハ) □で回答した国において、イの国からの難民は、男女
どちらが多いですか。

(回答)

男性 (男性1,964,318 > 女性1,677,052)

出典 : Refugee Population Statistics Database (UNHCR)

国際機関の統計の探し方～おすすめフロー



出典を辿ると、より新しく、より詳細なデータに行きつけます

専門機関がわかっている場合は、③から始めるのもあり
ただしデータが詳細すぎたり使いにくい場合は①や②に戻りましょう

①から③に行く場合もあり

国連の地域区分（M49）

<https://unstats.un.org/unsd/methodology/m49/>

1. 国連統計部（UNSD）のウェブサイト
(<https://unstats.un.org/home/>)
 2. 「Methodology」のタブ>「Country and area codes (M49)」を選択
 3. 「Standard Country or Area Codes for Statistical use (M49)」
(<https://unstats.un.org/unsd/methodology/m49/>) のページが開く
 4. 左側のリストから“Geographic Regions”を選択
- ⇒地域ごとの国リストが表示される。

国連統計部（UNSD）の国・地域コード
= “Standard Country or Area Codes for
Statistical use”（M49）

①日本語で探してみる：『世界の統計』 2021

第11章 国際開発援助 経済協力資金, 人間開発指数, 難民

2019年のデータが最新

全ての国が掲載されているわけではない。

国際開発援助

11-8 難民の人口(1) 出身国別

出身国(地域)	2017		2018		2019	
	総数	難民	総数	難民	総数	難民
世界	71,440	19,941	74,792	20,361	86,532	20,446
アジア						
日本	0	0	0	0	0	0
アフガニスタン	5,337	2,624	5,678	2,681	5,992	2,729
イラク	4,810	363	3,385	372	2,525	344
イラン	196	119	217	130	216	130
シリア	13,288	6,309	13,197	6,654	13,462	6,617
スリランカ	176	116	169	114	163	110
中国	297	208	306	212	317	213
パキスタン	662	129	387	132	297	137
パレスチナ a	110	100	116	101	109	96
ベトナム	341	334	340	334	325	316
ミャンマー	1,552	1,157	1,546	1,145	1,430	1,078

<https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html#c11>

②出典を確認し、国際機関の統計へ：
 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

11-8 難民の人口

出典

〔出典〕

UNHCR, *Global Trends 2017, 2018, 2019*
 2020年12月ダウンロード

〔解説〕

UNHCRによる推計値を含む暫定値。各年12月31日現在。

総数：難民のほか、庇護（ひご）申請者（自国を離れ、他国で庇護申請を行い、法的な難民としての認定を待つ人々）、帰還民（出身国へ帰還した人々）、国内避難民（他国へ逃れることができず国内で避難しているため、国際法に基づく保護や援助を受けることができない人々）、無国籍者などUNHCRの援助対象者が含まれる。

難民：人種、宗教、国籍、政治的意見及び特定の社会集団に属することを理由に、自国にいと迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れた人々。難民と同様の保護を受けている者を含む。

難民等の定義

国連難民高等弁務官事務所
 （UNHCR）ウェブサイトの*Global Trends*へのリンク

<https://www.unhcr.org/search?comid=56b079c44&&cid=49aea93aba&tags=globaltrends>

『世界の統計』の出典は2019だが、最新版は2020

Global Trends in Forced Displacement
 2020

補足：“難民 出身国”でGoogle検索すると、UNHCR駐日事務所などのページがヒット

・「主な出身国」の項

⇒出身国別の難民数の順位あり、**1位がシリア 6,700,000**

・「難民の出身国――全体の3分の2以上、68%が5か国に集中」の項でも

⇒**1. シリア 670万人**

UNHCR駐日事務所 「数字で見る難民情勢2020」

(https://www.unhcr.org/jp/global_trends_2020)

内容はGlobal Trends2020の要約。

課題イの回答

③ 専門機関等の主題別統計：Global Trends (UNHCR)

P.3 "68%, Originated from just five countries"の項

⇒ 出身国別の難民数の順位あり、1位がSyrian Arab Republic 6.7 millionと分かる

課題イの回答

ただし図表には課題ロ、ハの回答はなし。出典を探すのも大変そう

Global Trends

(<https://www.unhcr.org/60b638e37/unhcr-global-trends-2020>)

② 総合統計に戻ってみる

② 国際機関の総合統計で探す：

World Development Indicators

1. “World Bank data”でGoogle検索
2. 「World Bank Open Data」 (<https://data.worldbank.org/>) がヒット。
3. 検索窓に“refugee”を入力
4. 表示された候補から“Refugee Population by country or territory of origin”を選択

5. 表示されたページ

(https://data.worldbank.org/indicator/SM.POP.REFG.OR?most_recent_value_desc=true) の“All Countries and Economies”で、“Most Recent Year”が2020年であることを確認する。

6. 表はデフォルトが国名のアルファベット順になっているので、“Most Recent Value”をクリックして降順に並べ替え

6. 1位はSyrian Arab Republicが6,689,582人。

出身国別のランキング1位
⇒課題イの回答

Data Bankでさらにデータを探す

<https://databank.worldbank.org/reports.aspx?source=2&series=SM.POP.REFG.OR&country=>

国や項目、年の設定

- ✓ 国：全データ（変更せず）
- ✓ 項目：Refugee Population by country or territory of origin（変更せず）
- ✓ 年：（変更せず）

出典へのリンク

項目名

i

結果のPreview表示

受け入れ先の情報はなし
⇒出典を確認⇒UNHCRのDBへ

「Source United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR), Refugee Data Finder at http (以下略)」

とあり

② 国際機関の総合統計で探す： UN data

<https://data.un.org/>

1. “UN data”でGoogle検索
2. 「UN data」 (<https://data.un.org/>) がヒット。
3. 検索窓に“refugee” を入力
4. 関連するテーブルのリストが表示される
(<https://data.un.org/Search.aspx?q=refugee>) ので、表示させたいテーブルを選択する。この場合は“Table with data on Refugees”の1件のみ。

5. UN dataで表示されたテーブルを確認する。

出身国、
受入国、
年
の設定

<https://data.un.org/Data.aspx?q=refugee&d=UNHCR&f=indID%3aType-Ref>

出身国と受入国の
クロスデータが取
得可能。

6. 同じページ内で、テーブルの下にある「Source」欄で更新日を確認する。
7. 更新日が2017年（Last update in Undata:2017/11/02）とあり、新しいデータは取れない。
8. 「Online Population Database」が出典へのリンクになっているので、クリックすると、UNHCRのDBへ飛ぶ。

③ 専門機関の主題別統計：UNHCR

1. World Development Indicators記載のURLやUN dataのリンクを辿る
あるいは

“UNHCR data”、“UNHCR statistics”でGoogle検索
⇒Refugee Data Finder (<https://www.unhcr.org/refugee-statistics>) ^

2. 「Data Finder」タブ、あるいはページ中ほどの「Custom data query」から、
データ抽出条件を設定できる画面へ

シリア難民の受入先を確認する

データ抽出条件を設定し、表示されたテーブルを確認する。

- ① Dataset : Population figures
- ② Display type: Totals
- ③ Population types: Refugees
- ④ Year: 2020-2020
- ⑤ Country of Origin: Country selection → Syrian Arab Rep.
- ⑥ Country of Asylum: All countries

<https://www.unhcr.org/refugee-statistics/download/?url=h2qSzN>

表示された結果を“Refugees under UNHCR’s mandate”の項で降順で並べ替え

⇒ 受入国別の難民数1位：トルコ
= 課題□の回答

トルコにいるシリア難民の内訳

データ抽出条件を設定し、表示されたテーブルを確認する。

① Dataset : Population figures

② Display type:

Demographics

③ Population types:
Refugees

④ Year: 2020-2020

⑤ Country of Origin:
Syrian Arab Rep.

⑥ Country of Asylum:
Country selection →
Turkey

<https://www.unhcr.org/refugee-statistics/download/?url=izTr72>

男女別年齢層別
データ

女性1,677,052
＜男性1,964,318
⇒男性が女性より多い
= 課題Aの回答

補足 : *Global Trends* (UNHCR)から回答を得る

詳しいデータへのリンクは、p.71（最後から2ページ目）に記載あり。

Annex Tables

データの入ったテーブルのURL

Annex tables 1 through 22 can be downloaded from the UNHCR website at:
<https://www.unhcr.org/2020-global-trends-annex>

Annex table 5: <https://www.unhcr.org/2020-global-trends-annex-table-statelessness>
All data are provisional and subject to change.

Data is available at: <https://www.unhcr.org/refugee-statistics>

データベースの情報もあり

Global Trends

(<https://www.unhcr.org/60b638e37/unhcr-global-trends-2020>)

Annex Tablesのダウンロードデータを確認する。

⇒Table 3. Refugees and people in a refugee-like situation, excluding asylum-seekers, and changes by origin and country of asylum, 2020

①Origin : Syrian Arab Rep.で絞り込み

②Population end-2020のTotalで降順に並べ替え

⇒受入国別の難民数1位：トルコ
= 課題の回答

関連文献・ウェブサイト・文献等

➤ 難民

- UNHCR駐日事務所 <https://www.unhcr.org/jp/japan-unhcr> (2021年11月11日アクセス)
- 滝澤三郎, 山田満編著 『難民を知るための基礎知識：政治と人権の葛藤を越えて』. 明石書店, 2017.
- 小泉康一編著 『「難民」をどう捉えるか：難民・強制移動研究の理論と方法』. 慶應義塾大学出版会, 2019

国際機関の統計～本日のまとめ～

国際機関の統計が便利

- 複数の国のデータ、地域のデータをほしい
- 国や地域の比較をしたい
- 各国統計にデータがない
- 各国統計にアクセスする手がかりがほしい

注意点

- 地域比較の際は「地域の中身」を確認
- 類似のデータがあちこちにある
⇒更新時期、データソース、データの性質、定義などを確認し、目的に合ったDBを使う

国際機関の統計の探し方～おすすめフロー





ご清聴ありがとうございました

